

# 自施設にあった感染対策

～精神科で感染管理担当者になったら  
知っておくと便利なこと～



公益財団法人井之頭病院

西村和子 (感染管理認定看護師)

# 公益財団法人井之頭病院の紹介

- 東京都三鷹市  
JR三鷹駅より徒歩10分
- 精神科単科病院  
定床：640名  
1日外来患者数：330 (H27年度)  
(DC含む)
- 感染防止対策加算1  
感染防止対策地域連携加算



# 感染対策では苦勞してきた

疥癬：男子慢性期閉鎖病棟

感染性胃腸炎：

開放病棟のクリスマス会が大変な事に  
高齢者合併症病棟でコホートの結果・・・  
年末年始

インフルエンザ：繰り返されたもちこみ  
年末年始の同時多発

# 院内感染は不利益がおおきい

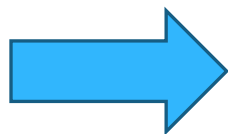
アウトブレイク



OT中止



入院の  
受け入れ中止



患者への不利益

スタッフへの  
不利益

評判の低下

病院収入の減少

# 本日の内容

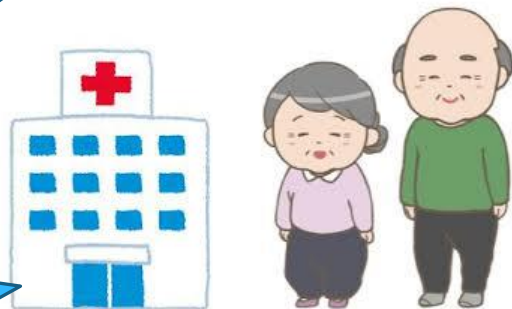
- 1、精神科で感染管理上考慮すべき特徴
- 2、具体的なインフルエンザ対策の進め方
- 3、報告書の作成

# 精神科で感染管理上考慮すべき特徴



- 専門家の数が少ない
- スタッフの数が少ない

- 在院日数の長さ
- 高齢化(身体合併症)
- 自己衛生管理能力
- 症状を訴えない
- 感染対策の協力が得られないことがある



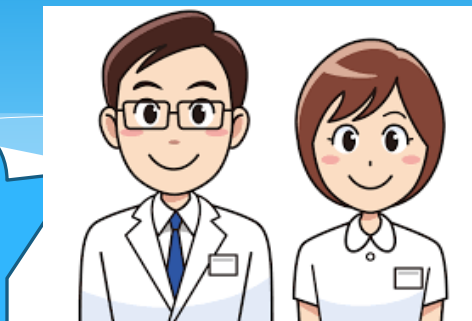
- ドアが多く、鍵の操作が必須
- 窓は開きにくい

- 退院にむけての外出、外泊

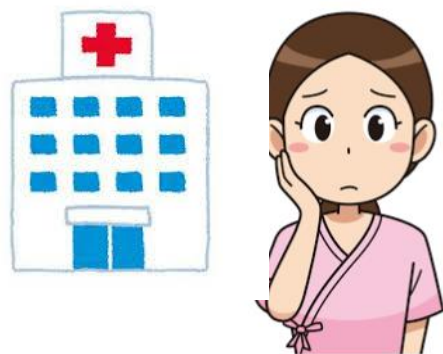
- 同じ空間に集まる機会が多い
- 集団での治療プログラム
- 作業療法
- 食堂で食事をとる
- 喫煙所

# 精神科で感染管理上考慮すべき特徴

- SSTやOTレクを活用した教育が可能
- 患者さんの特徴をとらえた教育



- 比較的正常な免疫機能が備わっている



- 閉鎖的環境を生かした持ち込み防止対策が可能



- 侵襲的な医療処置を受けることが少ない  
(人工呼吸器、手術、カテーテル留置など)

## \*精神科の特徴のまとめ

- 病院の中で感染症が発生する頻度は、それほど高くはない

- ひとたび、院内に感染症がもちこまれると、周囲に拡大するリスクが高い



\*精神科の弱味を知り、  
強味を最大限生かす対策をおこなう

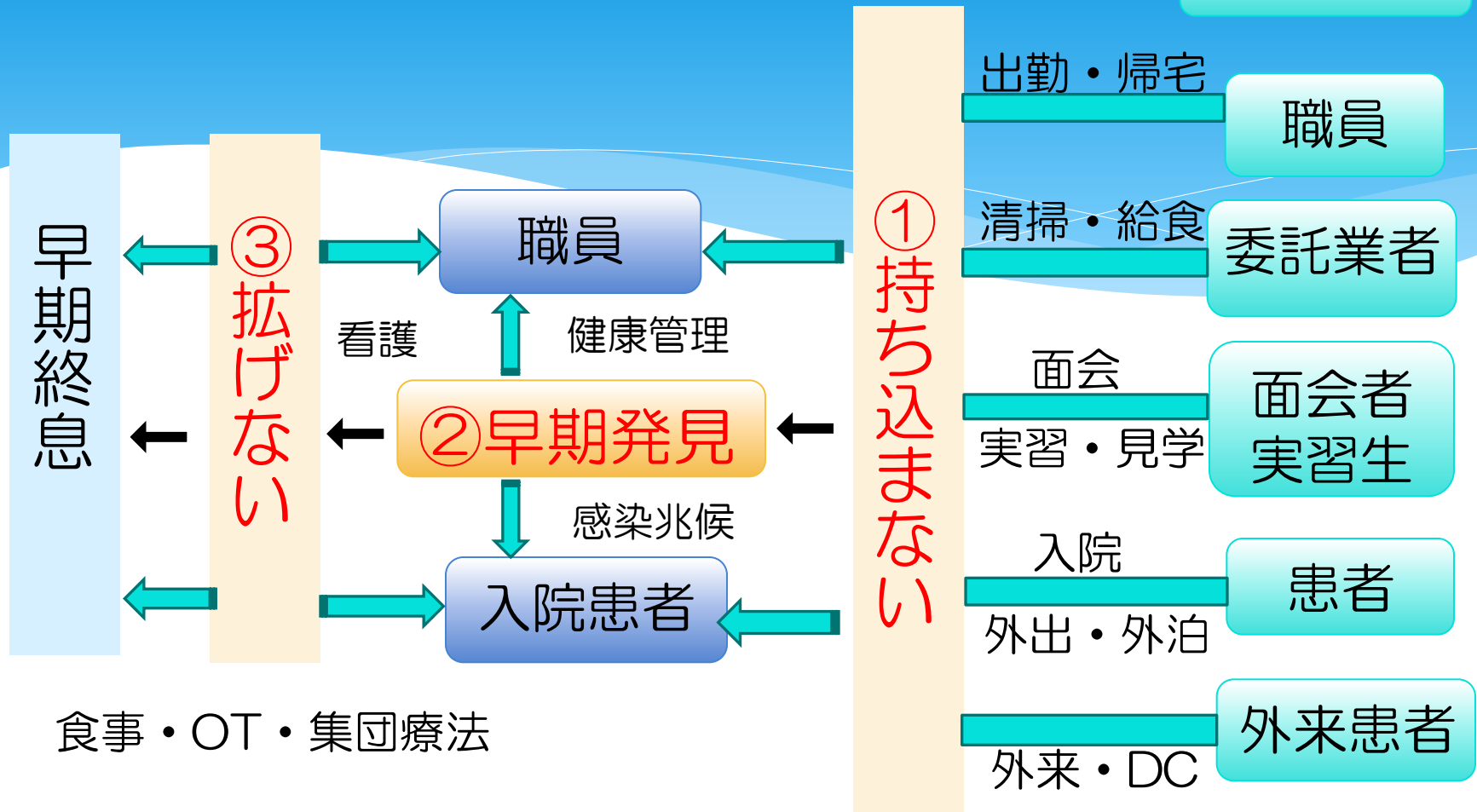


# 留意すべき主な感染症

	感染症	対策
市中感染症 の持ち込み	インフルエンザ、感染性胃腸炎	ワクチン 標準予防策 職員教育
セルフケア不足	食中毒、疥癬、水虫、蜂窩織炎	清潔の保持
高齢化 (免疫低下)	結核、 带状疱疹	定期健診 接触者検診
長期入院 身体合併症	誤嚥性肺炎 耐性菌(MRSA、MDRP、ESBL、その他)	口腔ケア 抗菌薬適正使用
血液・体液暴露	針さし・切創切創 (HBV、HCV、HIV、その他)	職業感染対策
医療器具関連	尿留置カテーテル 末梢留置カテーテル	マニュアル作成 管理方法の教育

# \*インフルエンザの感染対策

ワクチン接種



感染経路別予防策

サーベイランス

職員健康管理/面会者  
・入院・外泊者の感染兆候

# 「フェーズ」を用いた感染対策

一様ではなく、地域や院内の患者発生状況に応じて予め立てておいた対策を過不足なく迅速に展開し、更なる悪しき事態への進展を阻止

(山内勇人ICD 第4回感染制御セミナー講義資料より引用)

感染症の流行状況に応じた清掃方法や入院制限を含む患者移動制限、作業療法や理学療法などのリハビリテーションの制限、面会制限などの感染対策をあらかじめ決めて、通常から周知しておくもの

(山本由紀ICN第4回感染制御セミナー講義資料より引用)

# 2017-18 フェーズ表 (井之頭版)

レベル	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4	アウトブレイク
流行状況 (三鷹市内・院内)	11月1日～ (三鷹市内の状況により判断) 職員・家族の発症状況を把握	多摩府中：1人以上/定点	多摩府中管内：10人/定点	多摩府中管内： 30人/定点	アウトブレイク
サーベイランス	日報に記入(発熱・下痢・嘔吐・)		症例定義(確定例/疑い例)に従い、サーベイランスシートに記入		
暴露者の確認	発生時：暴露者(病室・食事席・交友関係・OT参加状況)の確認				
報告書	確定診断時、「感染関連報告書」を提出				
ポスター	注意喚起ポスター掲示 (エレベーター・各部署・喫煙所)	面会制限(家族のみ)ポスター掲示(全病棟入り口)			病棟閉鎖ポスター掲示(閉鎖時、当該病棟入り口)
面会者	面会者問診票の確認 手指衛生を促す 必要時マスク着用を促す				病棟閉鎖中の病棟は面会禁止 (洗濯物などの伝達は可)
	面会制限なし	ご家族のみの面会	発症した患者の面会は禁止 (暴露者：面会自粛を求める)		
検温	患者	通常どおりの観察	入院時・外泊帰院後は当日を含む3日間、2検～4検を実施(感染兆候の確認)		
			発症者：解熱後3日迄3検 暴露者：2日間3検	入院患者全員：3検	
	職員	自覚にもとづいた健康管理 (不調時は速やかに報告・受診)	出勤時検温。インフルエンザ様症状がある場合は報告し受診 インフルエンザ発症時：症状消失後3日間まで休むこと(優先的に年休を使用し必要に応じて相談する)		
飛沫予防策	職員マスク	標準予防策	患者に接する際はマスク着用	全員マスク着用	
	患者マスク	標準予防策		発症者、暴露者はマスク着用	全員マスク着用
	喫煙	禁煙の推奨	喫煙が終了次第帰棟の声かけ	発症者、暴露者は禁煙	病棟閉鎖時は禁煙
	食事	通常どおり		発症者：解熱後3日間の部屋食	暴露者：2日間部屋食
OT活動	参加者の体調確認 プログラム前後の手指消毒の徹底 共有物品の管理		発症者：解熱後3日間は休み 暴露者：2日間休み	病棟閉鎖中はOTプログラムへの参加は中止	
病棟閉鎖	入院・転入転出・予防内服・OT等の対応をICTと相談 関係部署への連絡 ホームページ上での掲示				
高頻度接触表面	1回以上/1日(環境クロス)	2回以上/1日(環境クロス)	2回以上/1日(次亜塩素酸Na【ルビスタ】)		

# 地域流行 情報収集

## 国立感染症研究所

## 東京都感染症情報センター(地域保健所)

## 医師会情報



### 東京都感染症情報センター Tokyo Metropolitan Infectious Disease Surveillance Center

- ホーム
- 研究所の概要
- 所長挨拶

- お知らせ
- 採用情報
- 調達情報
- 情報公開
- 公開講座・研修
- その他

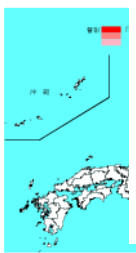
- 感染症情報
- 疾患名で探す
- 感染源や特徴で探す
- 予防接種情報
- 災害と感染症

- 研究・検査・病原体管理
- 研究情報
- 検定検査情報
- レファレンス
- 抗生物質標準品の交付
- 感染症検体バンクの六

### インフルエンザ

厚生労働省・感染した患者数が週ごと  
健康ごとにその基準  
組みになっています  
これらはあくまで流

2017年第22週  
2017年5月29日



English Multilingual Translation( TEST )

麻しん・風しん ワクチン接種で 免疫をつけよう

MERS 中東呼吸器症候群 ラクダに注意!

東京都の 感染症 媒介蚊 対策

### トピックス

#### 海外旅行では感染症に注意

地域によって日本にはない病気があり、口にするもの、蚊やダニに刺されること、動物との接触などは、日本での生活以上に注意が必要な場合があります。

帰国後、発熱、下痢、皮膚の異常、咳、倦怠感、悪寒、頭痛などの症状があった場合は、医療機関を受診する前に、電話で海外渡航歴があることを伝えてください。また、咳、くしゃみの症状がある場合は、周囲の人に病気をうつしてしまう可能性があるため、必ずマスクを着用して受診しましょう。

FORTH (For Travelers' Health : 厚生労働省検疫所)  
海外旅行者・帰国者のための感染症予防ガイド (東京都 感染症対策課)  
咳エチケット

#### RSウイルス感染症

感染症ひとくち情報 R Sウイルス感染症にご注意ください

#### ポツリヌス症

更新日：2017年8月31日

Google  サイト内検索



- 疾患別情報メニュー
- WEB感染症発生動向調査
- 外部リンク
- 東京都健康安全研究センター
- 東京都福祉保健局感染症対策課
- 東京都
- 地方衛生研究所ネットワーク
- 報道発表
- ご利用にあたって
- 感染症情報センターとは
- お問い合わせ

2007~2008年  
2008~2009年

インフルエンザに非なる異常な行動  
に注意(調査の範囲外)

# 院内流行 情報収集

インフルエンザ&  
インフルエンザ様症状サーベイランス



中小規模の医療施設向け

サーベイランス手順書(案)  
を参考にして実施

# サーベイランスシートと報告書

施設名 公益財団井之頭病院

部署名:

No.	患者情報																		
	入院・外泊	年齢	性別	自由散歩	喫煙	有・無	タミフル処方	熱	深夜	日勤	準夜	深夜	日勤	準夜	深夜	日勤	準夜	深夜	日勤
記入例	入院・外泊	78	男	自由散歩	喫煙	有・無	タミフル処方	熱	38.9	38.2	37.6	37.5	37.4	36.8	36.3	36.2	36.2	36.2	36.2
	有症状	ワクチン	有・無	検査キット	12月3日	陽性	陰性	嘔吐・嘔気	症状がある場合○をつける										
	入院・外泊																		
	有症状	ワクチン	有・無	検査キット	/	陽性	陰性	嘔吐・嘔気											
	入院・外泊																		
	有症状	ワクチン	有・無	検査キット	/	陽性	陰性	嘔吐・嘔気											
	入院・外泊																		
	有症状	ワクチン	有・無	検査キット	/	陽性	陰性	嘔吐・嘔気											
	入院・外泊																		
	有症状	ワクチン	有・無	検査キット	/	陽性	陰性	嘔吐・嘔気											

## 院内感染関連報告書 発生 / 解除

入院 ( ) 外来 (精神/AL)

職員 ( ) 職員家族 ( )

ID番号

患者氏名 年齢 歳(男・女)

入院日 年 月 日 主病名

\*職員(家族)の場合は部署名、氏名、年齢のみ記入

感染兆候 発症期日: 年 月 日 ( 時) ~

発熱 嘔吐(嘔気) 下痢 咳 発疹 その他( )

診断日: 年 月 日 ( )

診断名

インフルエンザ( )型 感染性胃腸炎(ノロ・ロタ・不明) 結核  
麻疹 風疹 水痘(帯状疱疹) 流行性耳下腺炎(ムンプス)  
流行性角結膜炎(EKC) 疥癬 シラミ  
その他( )

\*確定診断が出ていない場合は「疑い」と記入のこと

報告日 年 月 日

報告部署

報告者 印

# フェーズ1

\* 11月1日～開始する

インフルエンザの流行を目前にして通常実施している対策を再度見直し、徹底していく時期

\* 注意喚起するポスターの掲示  
(エレベーター、各病棟の入り口など)



# 面会カード

面会の方お一人につき本カード一枚の記載をお願いいたします

日付	患者様 氏名	面会者様 氏名	御関係	来院時間	面会終了時間
年 月 日				:	:

※ このカードは看護師にお渡しください

以下のどちらかに○をおつけ下さい

ここ1週間の体調について以下にお答え下さい	はい	いいえ
発熱している(熱っぽい)		
せきが出る、鼻水が出る。		
下痢している、嘔吐もしくは吐き気がある。		
ご家族もしくは職場等でインフルエンザもしくは感染性胃腸炎の人がおり、接触した。		

\*感染症の可能性がある場合は、ご面会をご遠慮いただくこともございます。

## 感染対策に関するお知らせ

現在、都内においてインフルエンザ、感染性胃腸炎が流行しています。院内における感染対策のために下記の事項を取り決めましたので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 病棟に入る前には、アルコール手指消毒剤での手指消毒をお願いいたします。
2. ご面会時、発熱・下痢・嘔気・咳などの症状がある方は、ご面会を控えていただく場合がございます。ご了解ください。
3. 流行時には、症状の有無にかかわらずマスク着用のご協力をお願いする場合がございます。
4. 流行状況により、一定の期間、ご面会をご遠慮いただく場合もございます。ご了承ください。



患者さまの安全のために、よろしくご協力をお願いします。



平成29年11月1日

公益財団法人 井之原病院 病院長

## フェーズ2 持ち込み防止、早期発見

\*地域では流行してきているが、院内は未発生の段階で開始する

保健所：1人以上/定点 三鷹市医師会の情報

面会	ご家族のみ
検温	入院、外泊後 3日間2~4検
職員	毎日、検温し報告
マスク	患者に接する時はマスク着用で
喫煙	発熱者は禁煙
清掃	環境クロスで2回以上/1日

# フェーズ3 早期発見、拡大防止

- ・保健所：10人以上／定点
- ・三鷹市医師会の情報

サーベイランス	症例定義に従い記入
検温	発症者：解熱後3日間は3検 暴露者：2日間3検
マスク	職員全員マスク着用
OT 散歩・売店	発症者：解熱後3日間は休み 暴露者：2日間は休み
喫煙	発症者、暴露者は禁煙
清掃	2回以上(次亜塩素酸Na)

# フェーズ4 早期発見、拡大防止

保健所：30人以上/定点

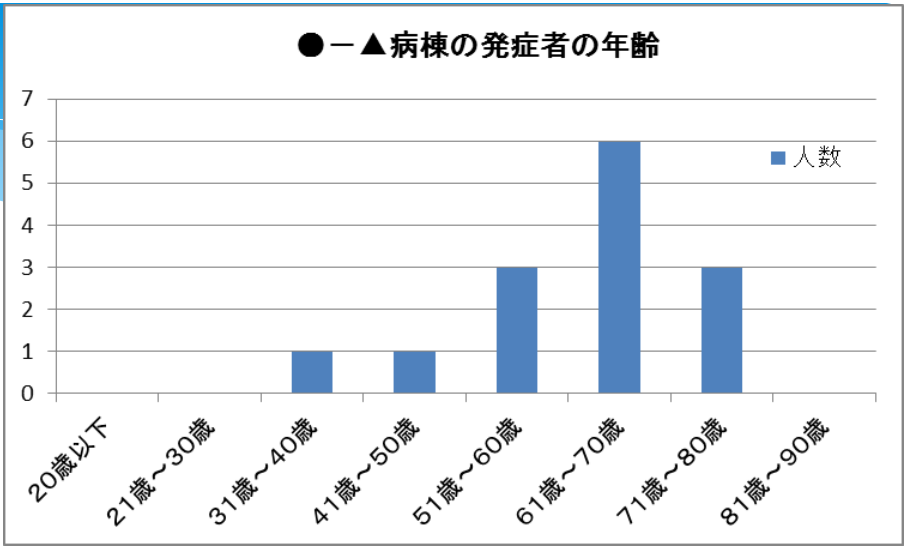
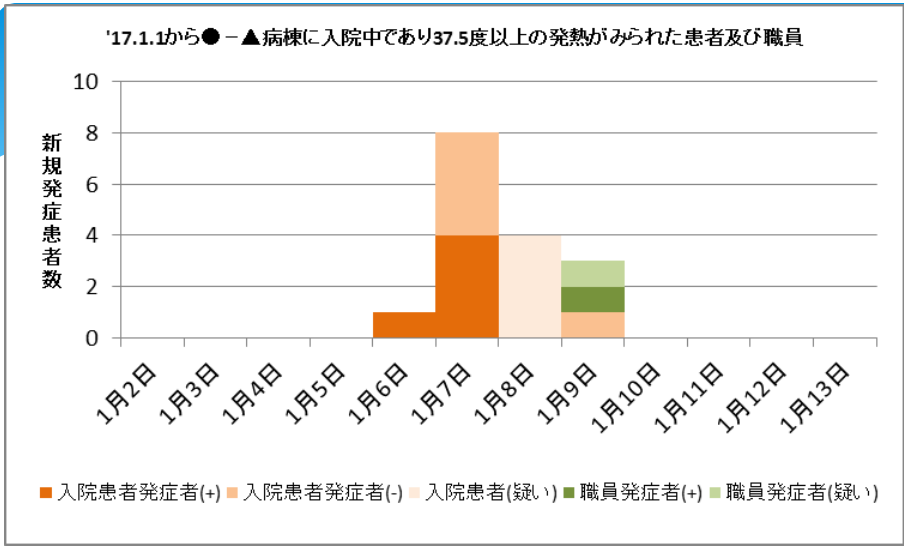
三鷹市医師会の情報

サーベイランス	症例定義に従い記入
検温	入院患者全員：3検
マスク	全員マスク着用
OT 散歩・売店	発症者：解熱後3日間は休み 暴露者：2日間は休み
喫煙	発症者、暴露者は禁煙
清掃	2回以上/1日 次亜塩素酸Na

# アウトブレイク中の対応

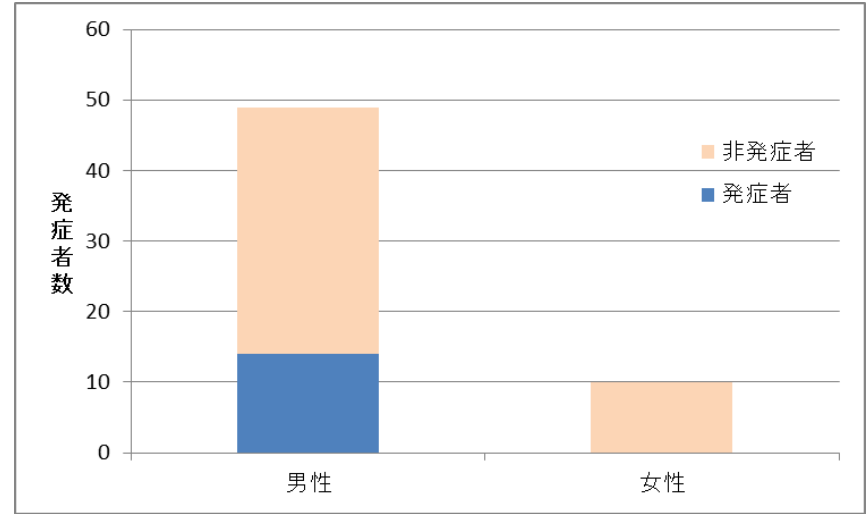
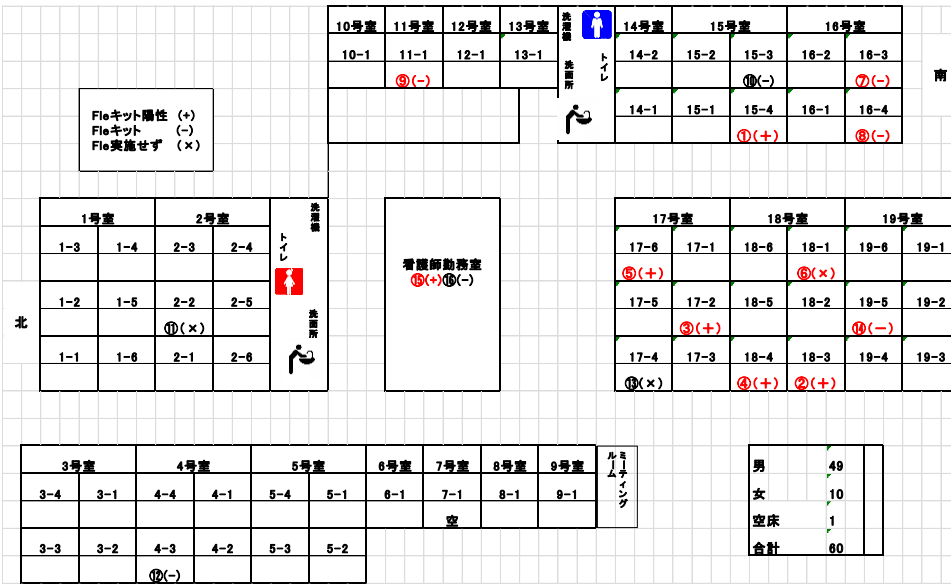
暴露者	同室者、食事座席、交友関係など
ポスター	• 病棟閉鎖ポスター掲示
面会	• 当該病棟は面会中止
検温	• 全病棟で1日3検
マスク	• 入院患者もマスク着用
OT・散歩	• 基本的に終息まで中止
喫煙	• 終息まで中止
入院・転入出	• 終息までは中止
伝達	• 院内HP上で掲示





「時間」 → 流行曲線

「人」 → 年齢、性別、喫煙、OT



男性(n=49)

女性(n=10)

「場所」 → 病棟見取り図

# 報告書の作成

タイトル：時、場所、人を含めておく

全体像：簡潔にアウトブレイクの全体像を  
記載

経緯：アウトブレイクの概要をまとめる

課題：来年の課題を明らかにする



# インフルエンザ対策

標準予防策

手指衛生、環境整備、咳エチケット  
を中心に

教育・指導 (職員と患者)



インフルエンザ対策文化の醸成

# 感染管理を担当する条件

- 1、専用の机とパソコン  
(インターネット使用可能であること)
- 2、感染管理をおこなう時間の確保
- 3、病院幹部の理解と支援

# 感染対策を楽しくすすめるコツ

## 感染対策の担当者は5N

Na → なかよく

Ni → にこにこ

Nu → ぬかりなく

Ne → ねばりつよく

No → のびのびと

# 第6回精神科感染制御セミナー

日時

2018年

7月15日（日）

～7月16日（祭）

1日目10:00～18:00

2日目9:00～15:40



場所

札幌医科大学付属病院臨床講堂

# 参考・引用文献

- 第3回精神科感染制御セミナー 資料集
- 精神科における感染管理ハンドブック  
(2016年7月作成)
- INFECTION CONTROL 013VOL.22
- 感染症疫学ハンドブック  
(2015年6月1日 第1版第1刷)

ご清聴ありがとうございました

